

イザヤ書 第1章 18節

「『さあ、来たれ。論じ合おう』と主は仰せられる。『たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。』」

神に逆らったイスラエルの民に預言者イザヤが語りかける。主と論じ合おうと勧める。神と対話するようにと語りかける。神は、民と向き合いたいのである。神は、民に問うことがある。神に問われたことに応答するよう招く。対話に終わることなく、神の問いに応答するとき、民の悔い改めが起こる。それが、神の問いに答えることとなる。神の問いを問い、応えることが問われる神に立ち返ることではか答えにならない。

問うお方が、問われた者が問い悔い改める者に言われる。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」悔い改める、神に帰る者の罪が深くても、その色がまるで緋のように赤くても雪のように白くなる。罪が完全に赦され雪のように白くなる。

さらに言われる、「たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」神の問いに問う者、神に立ち返る者、悔い改める者の罪が完全に赦される真実を再び語る。神に背き、逆らったことを受けて、論じ合おうと問い、問いに向き合うことを勧める。唯一、罪の赦しを完全に遂げられる神の招きである。

2023年2月10日